

50 周年特別寄稿 長野県産植物の栄村における新産地

石沢 進 *

長野県でも北に位置する下水内郡栄村における植物の分布調査を続けている。その結果、秋山郷の植物についてはすでにその一部を報告している（石沢・白崎, 1985）。ここでは長野県の植物誌（清水, 1997）に記録されていない種や栄村に分布する数種について報告する。

タイミンガサ（キク科） 写真1

Parasenecio peltifolius (Makino) H. Koyama

本種は日本海型分布の種であり（佐竹他, 1999）、新潟県では県南西部の頸城地方に点在している（笹川, 1988）。長野県の植物誌に記録されていないが、多雪地域の栄村の大久保1箇所、極野の奥山に2箇所ほどに生育している。しかし群生しているところは少なく、数株まとまって生えるか、あるいは点在して生育している。栄村での生育状況を示す写真と現在まで確認した地点の分布図を以下に紹介する。

フジキ（マメ科） 写真2

Cladrastis platycarpa (Maxim.) Makino

長野県植物誌の分布図には県北部に打点があり、新産地に該当しないかもしれないが、栄村地内では、白鳥、平滝、小滝、大巻<野田沢道>などに生育している。特に白鳥の千曲川沿いには、古木がまとまって小さな樹林なしている。日本の分布図（倉田・濱

谷, 1971）と照合してみても本種の分布のほぼ北限に当たる。隣接する新潟県の津南町にも分布するが、栄村の分布地点はそれよりやや北に位置している。北限で樹林を形成している群落に当たるとみて栄村の天然記念物に推薦しているが、まだ承認されていない。長野県には同属のユクノキも分布するが、栄村の樹の小葉は10～12枚、豆果は広線形で著しい翼があり、冬芽は黄白色の膜をかぶり、膜の内側に黒褐色の毛で密に覆われていることなどからフジキに当たる。

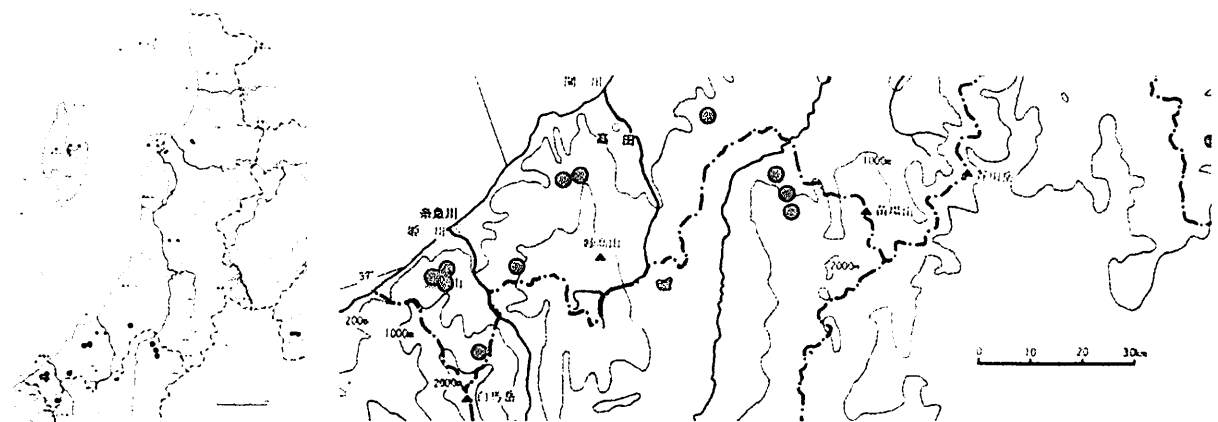
ケイリュウタチツボスミレ（スミレ科） 写真3

Viola grypoceras A. Gray var. *ripensis* N. Yamada et M. Okamoto

長野県植物誌では木曽谷固有と記録されているが、栄村の千曲川沿いに広く生えているので報告する。本種はレオファイト（溪流沿い植物）であり、千曲川は栄村で急な崖の間を縫って流れ下り、その川岸の岩礫地にヤシャゼンマイなどと共に生育している。また、本種は栄村に接する新潟県津南町の信濃川の岸壁にも生育していることが確認され、新潟県に分布していることも報告している（石沢・朱, 2015）。

キツネノマゴ（キツネノマゴ科） 写真4

Justica procumbens L. var. *procumbens*



分布図 タイミンガサの新潟県における分布図（右：栄村付近の拡大）

* 新津植物資料室 〒 956-0816

新潟県新潟市秋葉区東町 2-5-6 新津地域学園内

長野県植物誌では南部の木曾南部や下伊那各地に分布の記録があるが、県北の分布図に打点がないので、栄村の生育地を報告する。栄村では横倉の林縁、道路脇に初めて生育を確認し、その後栄村に造成している「栄村自然植物園」(栄村北野天満宮温泉脇)に例年群生しているので記録する。その植物園では自生の植物を活かしながら整備しており、造成直後にはまばらに生えていたが、毎年草刈りを行っている関係から近年園内に広く生育するようになっていく。

ハグロソウ (キツネノマゴ科) 写真5

Peristrophe japonica (Thunb.) Bremek. var. *subrotunda* (Matsuda) Murata et Terao

前種同様長野県南部の下伊那各地に分布の記録があるが、県北部の栄村の森宮野原に僅かに生育しているので追加する。千曲川下流の新潟県では信濃川流域に点在し、日本海沿岸に近い弥彦山の山麓によく見かける(高橋,1989)。

イヌアワ (イネ科) 写真6

Setaria chondrachne (Steud.) Honda

本種の長野県における分布については下伊那郡天龍村神原に記録されている(藤田・小澤 2015)。

県北部の栄村にもあり、前記の「栄村自然植物園」の園内に自生している。その生育地ではクズなど除草し、自然状態で残すように配慮している。

文献

- 藤田淳一・小澤正幸 (2015) 長野県新産3種の報告. 長野県植物研究会誌 第48号: 83-85.
- 石沢 進・白崎 仁 (1985) 苗場山・鳥甲山 (長野: 秋山郷) の維管束植物 長野県下水内郡栄村教育委員会
- 石沢 進・朱 雁 (2016) 新津植物資料室年報 2015: 35. 新潟市
- 刈屋 寿 (1985) 新潟県植物分布図集 第6集: 207-208, 植物同好じねんじょ会
- 倉田 悟・濱谷稔夫 (1971) 日本林業樹木分布図集、日本林業樹木図鑑 I :290(pl.76), 地球社
- 笹川通博 (1988) 新潟県植物分布図集 第9集: 353-354, 植物同好じねんじょ会
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (1999) 日本の野生植物 平凡社
- 清水建美監修 (1997) 長野県植物誌
- 高橋 務 (1989) 新潟県植物分布図集 第10集: 365-366, 植物同好じねんじょ会



1-1 群落と若い花序 2012 7 25



1-2 芽生え 2003 6 1

写真1 栄村極野におけるタイミンガサの生育



2-1 葉 2014 10 7



2-2 豆果 2012 11 5



2-3 冬芽 2005 11 24



2-4 群落(夏) 2011 8 11



2-5 群落(春) 2008 4 22



2-6 樹皮 2011 8 14

写真2 フジキ 白鳥千曲川沿いの生育(但し 2-2 は大巻での写真)



3-1 岩礫の上 2011 8 14



3-2 開花株 1982 4 22



3-3 花拡大

写真3 ケイリュウタチツボスミレ千曲川沿いの生育



4-1 群生 2011 9 14



4-2 開花株 2014 9 22 (右花序拡大) 8 14



写真 4 キツネノマゴ 北野天満宮温泉脇 栄村自然植物園 (自生)

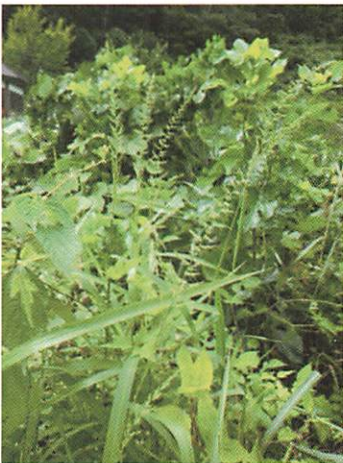


5-1 花 (正面から) 2016 8 16



5-2 花 (側面から) 2014 7 27

写真 5 ハゲロソウ 栄村森宮野原産 [栄村自然植物園で開花]



6-1 群落 2015 8 27



6-2 花穂

写真 6 イヌアワ 北野天満宮温泉脇 栄村自然植物園 (自生)